

(別記様式第 15 号)

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

塩尻市

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える 豊かな地域づくり	緩衝帯整備事業
事業費 13,310,000円 (うち支援金: 2,117,000円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

片丘地区市道山麓線沿線は、アカマツ林が多く林齢が増大しており、近年大雪による雪折れ、台風による風倒木、病虫害等による松枯れ、鳥獣被害等が課題になっている。

(2) 本事業の目的

高齢級のアカマツを皆伐し、緩衝帯を整備することで、気障害および病虫害、鳥獣被害等を予防する。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 塩尻市大字片丘 (塩尻 I C 西側)

(2) 対象者 山林地権者 15 名 実施主体 塩尻市

(3) 実施方法

地権者からの承諾を受け、対象森林区域内の緩衝帯整備を行う。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 年から令和 2 年) 平成 30 年度: 1.35ha 令和元年度: 3.55ha
令和 2 年度: 3.34ha

②令和 2 年度実績: 3.34ha

着工前



完了



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

緩衝帯を整備することで、気象害、病虫害、鳥獣被害を予防する。

(2) 継続性

推進支援金等を活用し、継続的に実施する。

(3) 普及性

今回の整備箇所をモデルとして、地域への波及効果を期待している。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

対象区域3. 34haの緩衝帯整備を実施。

(2) 課題

- ・緩衝帯整備（樹種転換）による近隣の気象害、病虫害、鳥獣被害の予防効果、被害量増減の確認検証
- ・官民共働を図り、広域的森林整備に併せた緩衝帯整備（樹種転換）の推進

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

庭木での被害木が多く確認されているため令和3年度は庭木被害木の燻蒸処理を実施する。

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)